

令和7年第17回玉野市教育委員会 会議録

I 期 日

令和7年10月29日（水）

II 会議時間

開会時間：13時00分

閉会時間：14時40分

III 出席委員

教育長 多田 一也

委員 小野 文子

委員 板倉 宏

IV 欠席委員

教育長職務代理者 横山 純子

委員 二宮 崇

V 説明のため出席した職員

教育次長 萱 哲司

教育総務課長 琵琶 学

学校再編推進課長 森 真志

学校教育課長 的場 佳代

就学前教育課長 片山 琢巳

社会教育課長 久富 真吾

（書記）遠藤 真由

VI 会議内容

1 開 会

2 教育長の報告

なし

3 議 事

（1）議案第34号 令和7年度学校運営協議会委員の委嘱について

（学校教育課長） 資料により説明

（原案どおり可決）

4 協 議

（1）令和6年度 教育委員会の事務に関する点検・評価報告書（第1稿）について

（各課長） 資料により説明

（小野委員） 全体の評価がA又はBということで、PDCAがうまく回っていると思った。たまののいいところ展は良かった。小学生が頑張っているが、すべての小学校がやってないため、全小学校があれば素敵だと思った。教科書の展示もあったが、興味を持ってもらえる

ようなアピールの仕方等、もっと手に取りやすい形で置いてくれたら良いと思った。

(学校教育課長) たまののいいところ展は昨年度初めての試みだった。昨年度はプレ発表で全学校が展示できていない。今年度は小中全学校が発表と展示をしたが、学校によって取り組み方や出来栄え、成果に差があつて、学校によって違う部分大きい。今年度の展示を見て、来年度それぞれの学校でもっと他の学校を参考にして、さらにより良い展示、発表ができると思う。

(板倉委員) 評価として特に効果が高かったものについては、もっと欲が出てしまうが、そうすると費用がかかったり人が必要となったりすることもあり、難しいところもあると思う。例えば、29 ページの小1グッドスタート支援事業はとてもいい事業であるが、今でも県の補助事業か。

(学校教育課長) 県の補助事業で、1年生30人以上のクラスという条件がある。

(板倉委員) 小1プロブレム対策としてはとても効果が高いが、課題として「年度途中で任用が切れるために人材確保が非常に難しい」と書いてある。30人以上という条件もあるので、次の年に仕事があるかどうか分からない。たとえ採用されても10月で仕事が終わってしまうという状況であると、やはり人を集めるのはなかなか難しいのではないか。Aの評価ならば、是非、市の方でもう少し工夫し、せめてサポートスタッフとしてでも3月まで採用することを考えてもらえないか。採用も楽になるし、希望がある方については働きやすく、学校も助かるのではないかと思う。今後の方向性として検討する余地はあるか。

(学校教育課長) 県の事業が10月までということで、10月で任用が切れてしまうが、学校では11月以降も学校行事がたくさんあり、特に1年生は後期も支援が必要という中で、市で支援ができるような体制等を考えていきたいと思っている。サポートスタッフの予算・配置の余裕があれば、学校サポートスタッフとして後期も継続しているが、確実な配置にはならないので、特に1年生の手厚い支援ができるよう、しっかり体制を整えたいと考えている。

(教育長) 本日欠席の二宮委員と横山委員からの意見で、「8～9 ページの各評価視点の数字と13 ページ以降の各評価視点の数字は、関連性はなく、別物という理解でいいか」についてはどうか。

(教育総務課長) (点検・評価シート) 事後評価欄の、評価視点の妥当性、有効性、効率性の各評価は、8～9 ページの評価視点の各項目を基にしているため、その部分では関連性はある。なお、評価視点の下に「次の項目の該当度合いに応じて4段階で評価する。該当項目が少なく、該当度合いが小さいほど高評価となる。」という文言を追加して分かりやすく説明を入れたい。

- (教育長) 次に、「少年団体運営補助事業で、評価・視点の数値と総合評価に乖離があるが、評価・視点の数値からして総合評価 B を下回る評価となるように思う。」についてはどうか。
- (社会教育課長) 少年団体運営補助事業については、玉野市内の子ども会連合ボーイスカウトに補助金を支給している。子ども会については、市内に1団体しかなく、それを市内の連合会として補助をしている。生涯学習を担う課として、少しでも子どもたちが活動するのであれば支援するということは非常に重要なことと考えているため、どういった支援ができるか、活動に見合った補助となっているかを今後検討しなければならない。妥当性としては低い、今後も活動を支援していくことを踏まえ B としている。
- (教育長) 次に、30 ページ、教育サポートセンター管理運営事業について、「総合評価 A の十分成果があったという記載からして、有効性 3 は過小評価ではないか」についてはどうか。
- (学校教育課長) 各項目の評価を悩んだところではあるが、事業そのものの成果は十分であり、計画どおりに進めていく事業であると考え。項目の評価・視点で考えた時に、さらに充実させる必要であったり、有効性・効率性で考えると、もう少し改善や見直しが必要と考え、それぞれ 3 としたが、この事業は有益な事業であり、次年度も計画どおり事業を進めていくことが適当と判断し、総合評価は A としている。
- (教育長) 玉野市少年少女発明クラブ運営補助事業で、「提供されている具体的な場所はどこか」と、「課題の記載内容を見ると、インパクトを持って受け止められる可能性があるように思われるので、本年度の喫緊の対応が必要と思う。」についてはどうか。
- (社会教育課長) 少年少女発明クラブの活動場所は 玉原小学校の図工室を利用しているがエアコンがない。暑い中でこれまで活動してきたが、昨今の猛暑の中では活動が危険だろうということで、課題としてあげた。今年 7 月にエアコンを玉原小学校の図工室に移設したので、8 月以降は適切な環境のもとに活動の場所を提供できている。
- (教育長) 二宮委員の意見で、「18 ページ 二十歳の式事業について、課題として会場のあり方とあるが、具体的にはどのような課題があるか。」についてはどうか。
- (社会教育課長) 二十歳の式の会場は、渋川の瀬戸内国際マリンホテルを使用しているが、費用負担が発生することから、会場のあり方を課題としている。
- (教育長) 次に、「23 ページ 適正規模化計画策定事業について、評価の有効性が「3 やや高い」となっているが、「4 高い」がよいと思う。」についてはどうか。

(学校再編推進課長) 宇野・玉・日比、山田・東児の23カ所で開催した中学校の再編に関する説明会では、中学校と比べて、小学校の再編を寂しく思う方が多々見受けられ、今後、小学校の再編に関する説明会を開催していく中で、説明会の手法など、これまで以上の改善を図っていく必要があると考え、有効性3にしている。

5 報 告

(1) 子どもの安全第一に学校統廃合計画を見直し、日比中学校の存続を求める陳情書の提出について(9件)

(学校再編推進課長) 資料により説明

(2) 子どもの安全第一に学校統廃合計画を見直し、日比中学校の存続を求める要望書の提出について

(学校再編推進課長) 資料により説明

(3) 子どもの安全第一に学校統廃合計画を見直し、日比中学校の存続を求める署名の提出について

(学校再編推進課長) 資料により説明

(小野委員) 地域の人々の考え方、また子供を持つ親の考え方、本当にいろいろあるというのはよく分かるが、児童生徒にとっては自分が与えられた環境が全てになってしまい、義務教育はその後の人生にすごく影響すると思うので、ハード面をきちんとするというのは市の責任であると思う。地域説明会を開催し、一定の理解を得たという部分は、倉敷ケーブルテレビが市長選の出口調査で、中学校の再編についてどう思うか?というアンケートを地域別にやっていたと思うが、その中で日比・玉地区に関しては賛成が4割強、どちらでもないのと反対意見が2割ぐらいだったと記憶している。その数字からも、一定の理解を得ているということが分かる。八浜地区に関しては、反対が圧倒的多数になっていたため、地域によっては少し難しい面もあるが、市民の声が数字として出ていると思った。文科省が進めている児童生徒が主体的に学び合うことを考えた時に、異なった考え方の人が協働的な学びを進めていくにはどうしても必要だと思う。玉野市が計画にあげている「一学年3学級以上に」、「全員教科で専門の先生が教えられるように」、「部活動の選択肢を広げる」という大前提は、子どもにとって一番の教育環境であると思う。大きくなるのがいいという考え方ではなく、覚悟を持ってそういう考え方でいくんだということ、揺るがない気持ちでいけば問題ないのではないかと思う。公立学校は、本当に地域の人々の気持ちがすごく大きいということも、署名を見て感じる場所もあるし、寂しくなるのは当然誰でもそうだと思う。それが子供の成長のためだと思ったら市民として良い結果になったのではとないかと思えるし、その跡地が今のすこやかセンターになったことで、また地域の子供から高齢者の方までが

集う場所になったのは、発展の仕方もあるので、玉野市として効率の良い形になっていけばいいかと思う。教育を同じようにそろえていくことは、少数を望む保護者ももちろんいると思うが、適切に配慮しながら進めていくことはとても大事なことだと思う。

(4) 来年度の入学予定状況について

(学校教育課長) 資料により説明

(5) 令和7年度 玉野市文化・スポーツ顕彰について

(社会教育課長) 資料により説明

6 その他

(1) 令和7年6月定例会市議会一般質問概要について

(教育次長) 資料により説明

(板倉委員) 修学旅行費について、一括徴収しているところもあるかもしれないが、実際には積み立てがほとんどだと思う。

(教育長) 事前給付の問題点は、実際の参加人数や天候、交通事情等で修学旅行費が変わってくるが多いため、一定額を給付しても、返金や追加徴収となる点である。8割程度を支払うのはどうかと言われているが、事前給付をするには課題があるため、しっかり研究して実現可能かどうかを検討したい。

(2) 昭和五つ星学園の視察について

(教育総務課長) 資料により説明

7 閉 会

次回、教育委員会は令和7年11月6日(木)16:20から開催するので参集願う。以上で、令和7年第17回教育委員会を閉会する。

会議録調整者 書記 遠藤 真由

会議録署名委員 教育長 多田 一也

委員 小野 文子